佐賀市教育研究所ニュースレター

木漏れ陽

12月

令和6年 12月9日　第82号
発行　佐賀市教育研究所
発行責任者 所長 青柳正文

２０２４年も残りわずかとなりました。今年はどういう１年でしたか？

元旦に石川県の能登半島地震、２日には羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機との衝突事故と、衝撃の事件が続き、今年はどんな年になるだろうと不安を感じながら正月３が日を過ごしたのがつい最近の事のように思います。

今年はスポーツ好きの私にとって、パリオリンピック・パラリンピックでの日本人の活躍、大谷・山本選手が所属するドジャースの MLB ワールドシリーズでの優勝、佐賀県で開催された佐賀国スポ・全障スポの熱戦など、たくさんの感動と勇気を与えてもらった一年でした。

各学校では、体育大会や運動会、文化発表会、遠足、合唱コンクールなど様々な学校行事が行われ、子どもたちが生き生きと取り組んでいる様子があったようです。私は体育大会・運動会を参観させていただき、子どもたちの日焼けした顔、真剣に走ったり踊ったりしているときの表情がとても印象的でした。また小学１年生のかわいらしい姿や中学生のたくましい姿を見ると、子どもたちの９年間の成長を感じることができました。

さて、今更ながら、２０２４年の干支を調べてみました。２０２４年は、「甲辰（きのえ・たつ）」であり、「あまねく光に照らされ、急速な成長と変化が起きる年」。目に見える表立った行いも、これまで人目につかなかった行いも、ありとあらゆるすべてに光が当てられ、大きく変化していく年。人によっては、これまでの努力が認められ更なる成長を遂げる年になるかもしれない。逆に人知れず頑張ってきたこと、自身でも気が付かなかった意外な才能が一気に開花する年になるかもしれない。と書かれてありました。

みなさんはどうでしたか？私は、まだ実感はありませんが、私にとって今後の成功に欠かせない１年だったと思える日が来ることを楽しみにしておきたいと思います。２０２４年も残り数日、私は、海外旅行に行くぞ！剣道の稽古を再開するぞ！ダイエットをするぞ！と、来年度のことを想像し胸を膨らませながら過ごしていこうと思います。

今年も各学校では先生方が子どもたちの健全な育成、また子どもたちの笑顔のために、創意工夫を凝らし様々な取り組みを行っていただきました。２０２５年は、先生方にとって、更に充実したよりよい１年になりますよう願っています。

「ヤマアラシの話」

ある冬、山中に２匹のヤマアラシがいました。その日は雪が降り、いつもより寒い１日でした。２匹のヤマアラシは、身を寄せ合って暖をとろうとします。「ぎゃっ！」ヤマアラシはお互いの針で相手を傷つけてしまいました。しかし、離れると寒い。近づいたり離れたり何回も繰り返すうちに、お互いを傷つけず、暖をとれる距離を見つけることができました。　《ドイツの哲学者　ショーペンハウエルの寓話より》

☆人間関係も近づきすぎず、離れすぎずのいい距離感が大事！

（佐賀市教育委員会学校教育課　指導主事　古賀直樹）

令和6年度佐賀市教育研究所員会実践授業

○　指導案等、全校共有フォルダにもアップいたしますのでどうぞご覧ください。

【　研究内容と基本方針　】

・全国学力・学習状況調査の分析を行い、結果を補う改善策の授業提案を行う。

・ICT 環境を最大限に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実していき、どちらの良さも適切に組み合わせて生かし学力の確実な定着を目指す。

今年度は、国語部会、算数・数学部会、協働的な学び部会の３部会で、代表者が授業を行いました。

１０月３０日	国語部会	授業者	赤松小	釘本拓弥教諭
１１月１８日	協働的な学び部会	授業者	城西中	永山智英教諭
１１月２８日	算数・数学部会	授業者	鍋島中	伊東祐輝教諭

【　国語部会　】

１　期日　令和６年　１０月３０日（水）

２　授業者　赤松小学校　６年３組　　釘本拓弥教諭

３　単元名　「表現に着目して読み、考えたことを伝え合おう」（東京書籍）

４　単元の目標　　情景や心情を描いた表現に着目して読み、物語を読んで考えたことを伝え合うことができる。

本時めあて「６年３組の『模型のまち』の魅力大辞典を完成させよう」

５　目指す子ども像分析改善の視点

「人物像や物語等の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」が不十分。

→　表現に着目して読み、考えたことを伝え合う言語活動を設定し、叙述を基に考えさせる。

言語活動は、「表現の効果」に着目させながら自分の考えをまとめる紹介文とグループ対話（「一人読み」と「クラス全体での話し合い」の間に、少人数に自分の考えを伝える時間）

６　本時授業と研究会

○本時は、心に残った文章や表現を選び、理由とともにタブレットに紹介文としてまとめ、グループで紹介することで「色彩表現」「情景描写」に注目させ、主人公の変化を示していることに気づかせることを目指した。

○研究会　・表現の効果とは？心情の変化か？工夫との違いは？（工夫が手段で効果が目的・結果）

・深まった（広がった）姿とは？

・児童の選択の場を多く。①「書く」際に、手書きでもタブレット入力でも児童が選択。

②交流の際、画面上にサイドライン・コメントを書く。等

・めあてとして児童に学習状況の不十分な「表現」を示した方が目的意識が明確になるのでは？

【協働的な学び部会】

１　期日　令和６年　１１月１８日（月）

２　授業者　城西中学校　３年３組　　永山智英教諭

３　単元名　「相似な図形」（本時　相似な図形の相似比と面積比）（東京書籍）

４　本時の活動内容　　「面積を求める公式」がわからない図形でも、相似比と面積比の関係から図形の面積を求める方法を説明できる。

５　目指す子ども像分析改善の視点

「協働的な学びが授業内容の理解につながっていない。」

→　協働的な学びを行う意義を明確にし、学びの見通しをもてる「めあて」を設定するなど確かな学力の醸成につながる協働的な学びのポイントを押さえた授業改善が必要である。

６　本時授業と研究会

○①図形や具体物を使いながら操作や実験・実測を通して相似な図形の持つ性質を考える。②ある場合になり立つ性質が一般化できるかを考え互いに伝え合う。③予想した結論を導く方策について既習の生かし方を考えようとする。

○研究会　・できるだけ違う人との意見交換→人間関係づくりでは効果あり。

・自分から教えに行く子、全体を見る子をいかに育てるか。

・自己調整力「今自分が何をすべきなのかの選択ができないと学力はつかない」

【　算数・数学部会　】

1　期日　令和６年　１１月２８日（木）

2　授業者　鍋島中学校　１年４組　　伊東祐輝教諭

3　単元名　「平面図形の見方をひろげよう」
（東京書籍）

4　単元のねらい　　論理的に考察し、表現する能力を育成するために、図形の性質をもとに直感的な見方・考え方をさらに深め、数学的な表現を用いて説明し合う活動を通して、数学的に表現することのよさを実感させる。

5　目指す子ども像分析改善の視点

「記述式問題での正答率の低さが顕著、中でも図形分野の正答率が低い。」「複数のことを結び付けて考えることや問題の条件に沿った答え方をすること」「必要な情報を読み取ることや正しい手順を踏んで言葉で説明すること」が不十分。

→「図・式・言葉を関連付けて、考えを表現し伝え合う児童・生徒の育成～協働的な学びを通して～」のテーマで授業づくりを行う。

6　本時授業と研究会

〇本時は、「図形の性質や基本の作図を利用して、与えられた角度を作図する方法を考え、式や数学的用語を使って説明することができる」ことを目指した。

〇研究会　・個別最適化のための選択の場（「映像」「口頭」「書く」・２対３での話し合い、１対１での話し合い）で子ども自身が学びやすい方法を選択でき、自身の特性を把握できる。

・説明の中で、図・式・言葉を関連付けさせると、式と説明がむすびつくのではないか。

・今後の学習に生かすために、振り返りのポイントを明示し、話し手・聞き手の育成につなげる。

《 お知らせ 》

協働的な学び部会では、１月に公開授業（所員以外の８名）を予定しております。
日程等は改めてお知らせ致しますので、どうぞご参観ください。

（佐賀市教育委員会学校教育課　指導主事　野中亮彦、　教育研究所指導員　権藤順子）

「あなたを見守っているよ、つながっていたいな」

学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。	53%
親子の関わり方に関する情報や相談があった。	17%
障害（疑い含む）に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった。	15%

全国的に、不登校数は増えている。佐賀市も例外ではない。

さて、上の表は、不登校調査（令和 5 年度佐賀市集計より）「不登校児童生徒について把握した事実（旧：不登校の要因）」の内、上位 3 項目である。やる気が出ない、親子の関わり方、障害に起因・・・このような児童生徒に学校では何とかしたいと知恵を絞り、心を砕き、担任の先生を中心に関係者が足を運び、学校への復帰、支援センター等へのつなぎ、引きこもり防止にむけて「あなたのことを思っているよ」とつながりを大切に動いて頂いている。佐賀市教育支援センター「くすの実」でも、通級生の足が遠のいたとき、指導員やサポート相談員が電話連絡、訪問、ポストイン等で「あなたとつながっていたい」というメッセージを送っている。

たとえ不登校になっても、誰かがどこかでつながっている、見守っている、いつかきっと、と願っている・・・そんな佐賀市の不登校支援、子ども支援です。

（教育相談指導員　鶴　利邦）